

# 学べるトラベル

10



## いわき市考古資料館



←土器、陶器などは破片を組み合わせて接合し復元も



←平日であれば、発掘した遺物の整理作業の見学が可能

いわき市考古資料館は平成九（一九九七）年の設立。設置目的には、「市民の文化の発展に寄与するため、市内の学術的に貴重な考古資料、その他歴史資料の保存・展示、及び体験学習」などがうたわれている。

同様の博物館的な役割を持つ市内他施設との違いは、「地中から発掘された、人類がかかわっている遺物」が対象。化石や、収蔵されていた古道具類などは別施設が扱う。

「いわき市石炭化石館・ほるる」「暮らしの伝承郷」などと違って、収蔵物を並べる簡素な展示内容となっている理由は、施設の役割が、発掘調査と発掘された遺物の整理作業。

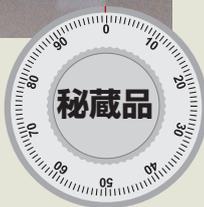
同館二階には遺物整理用の作業室があり、平日であればいつでも見学が可能。土中から発掘された陶片、木片、骨片などさまざまな遺物を洗って図に起こし、記録していく。

JRいわき駅周辺の再開発では、数百箱にも及ぶ遺物が出土し、現在はその整理作業で大勢の人員が働いている。こうした発掘作業を経て、

# いわき再発見シリーズ⑬



市南部の後田地区の古墳から出土した陶製の棺。東北では唯一の発見例で、市内で出土する埴輪などを作成していた工人が作ったのではないかと推測されている。



## 陶棺

## いわき市考古資料館データ

- 住所=いわき市常磐藤原町手這50-1
- 休館日=毎月第3火曜日(祝日の場合翌日)、1月1日
- 開館時間=9~17時(入館16時30分まで)
- 入館料=無料  
遺物整理作業の見学は平日のみ
- 電話=0246-43-0391



資料館のほか、遺物などを保管する収蔵庫も併設

→年に三回実施される考古資料館まつりには、市内を中心に多くの家族連れが訪れる

## 展示物の多さも大きな魅力

同館に展示されている遺物は約千五百点。土器、陶磁器、石器、勾玉、土偶など、旧石器時代から江戸時代までそろっている。

「市内の歴史資料を見てもらえる。同じ分野の遺物としては、展示数が多いところが魅力のひとつ」と、木幡成雄館長は説明する。

コロナ禍前、平成三十年の利用者数は約一万二千人。コロナ禍後の令和四年度は六千人程度と半減。人気の勾玉づくりをはじめ、土器・土

偶・埴輪づくりなどの体験教室の回数を増やし、利用者回復に力を入れている。

年に三回行う「考古資料館まつり」には、家族連れを中心に多くの人が訪れ、体験教室のほか、火おこし、原始的な弓矢の的当てなどを楽しんでいる。

子どもたちに人気のゲーム「マインクラフト」では、石や木を採取して、石おの、つるはしなどの道具を手作りし、サバイバル生活を送る。こうした原始時代の知識が、現代のゲームなどでも、役に立つことがあるのだ。

市内には千四百カ所を超える遺跡があり、開発事業や、道路建設などがあると、新たに発掘調査が必要な遺跡、遺構、遺物の発見が伴う。

「開発によって壊されてしまふ資料を保存し、いわきに住んでいた人の生活を知ってもらうことが、同館の大きな役割」と、木幡館長は語っていた。

→収蔵品のシンプルな展示は、数の多さが特徴



(和)

### 食の安全・安心。さらに、おいしい

## シーフドケーキ

◆◆◆「秋の夜長」お酒と共に◆◆◆

# 創作かまぼこ かねまん

本舗

https://www.kaneman.net/  
0120-17-3360

■電話・FAX・インターネットでも注文承ります。  
■本店営業時間AM8:00~PM4:00(年中無休)

皆様の幸運を招く  
恵比寿様 大黒様

恵比寿様 大黒様

■本店  
福島県いわき市平下高久字下原83  
TEL.0246-39-3360・FAX.39-3754

■いわき・ら・ら・ミュウ店  
福島県いわき市小名浜字辰巳町43-1  
TEL&FAX.0246-53-7125

■オンラインショップ  
www.kaneman.net  
インターネットでのご注文はこちら▶